

News Release

2021年6月18日
株式会社日立製作所

新型コロナウイルスの感染拡大に直面するインドをはじめとした国々への寄付を実施

日立グループは、新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化するインドをはじめ、災害・事故・疫病などのさまざまな社会問題に直面する国々への支援策を実施します。

このたび、日立製作所および日立インド社は、インドへの支援を目的として、公益財団法人 日本ユニセフ協会およびインド現地の慈善団体などに合計約 5,000 万円を寄付します。また、日立製作所から在インド日立グループ会社に対してこれまでに酸素濃縮器 500 台(約 3,000 万円分)を提供したほか、今後、在インド日立グループ各社では、従業員向けの医療面をはじめとした支援策を実施します。これらを通じて、新型コロナウイルスの影響を受けているインドの子どもたちとその家族、従業員への支援に貢献します。

また、日立グループの従業員が寄付を行うと会社側も同額を寄付する社会貢献スキームを導入し、インドをはじめさまざまな社会問題に直面する国々を対象とした支援を行います。2021 年度は、会社側として約 3,000 万円までの寄付を実施することを計画しています。

日立グループは、お客さま、パートナー、そして、グループでグローバルに働く従業員および家族をはじめとする、すべてのステークホルダーの皆さまの安全・健康を第一に考え、感染拡大防止に向けた施策や従業員支援をグローバルで推進していきます。また、社会貢献スキームの導入によって、従業員と会社が一体となって、グローバル各国の社会問題への対応に貢献していきます。

■新型コロナウイルスの感染拡大への日立の対応について

<https://www.hitachi.co.jp/information/ImportantNotices/index.html>

■日立製作所について

日立は、IT(Information Technology)、OT(Operational Technology)およびプロダクトを組み合わせた社会イノベーション事業に注力しています。2020 年度(2021 年 3 月期)の連結売上収益は 8 兆 7,291 億円、2021 年 3 月末時点で連結子会社は 871 社、全世界で約 35 万人の従業員を擁しています。日立の先進的なデジタル技術を活用したソリューション/サービス/テクノロジーである Lumada を通じて、IT、エネルギー、インダストリー、モビリティ、ライフ、オートモティブシステムの 6 分野でお客さまのデータから価値を創出し、デジタルイノベーションを加速することで、社会価値・環境価値・経済価値の 3 つの価値向上に貢献します。

詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
